

平成 27 年度 第 2 回昭島市環境審議会
会議録（要旨）

開催日時 平成 28 年 3 月 16 日（水） 18：30～20：15

開催場所 昭島市役所 3 階庁議室

出席者

- 1 委員 桐谷委員、久富委員、中野委員、椎名委員、降旗委員、長瀬委員、宮川委員、根本委員
- 2 事務局 山下環境部長、吉野環境課長、秋山計画推進係長、齋藤環境保全係長、松永水と緑の係長 産業活性課産業振興係職員 2 名

欠席者

委員 金井委員、亀掛川委員、長野委員、嶽山委員

議事要旨

- 1 開会
- 2 議題

- (1) エコプロダクツ 2015 の出展について（報告）【資料 1】
- (2) 第 8 回あきしま環境緑化フェスティバルの開催について（報告）【資料 2】
- (3) あきしまの水ブランド構築・推進事業について（報告）【資料 3】
- (4) 平成 27 年度市内クリーン運動について（報告）【資料 4】
- (5) 平成 27 年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーンについて（報告）【資料 5】
- (6) 平成 27 年度犬のしつけ方教室について（報告）【資料 6】
- (7) 平成 26 年度及び平成 27 年度苦情件数について（報告）【資料 7】
- (8) 平成 27 年度花の応援事業（花苗配付）について（報告）【資料 8】
- (9) 平成 27 年度奥多摩・昭島市民の森事業について（報告）【資料 9】
- (10) 平成 28 年度主な環境課の事業一覧（予定）（報告）【資料 10】

- 3 閉会

配付資料一覧

- 資料 1 エコプロダクツ 2015 の出展について
- 資料 2 第 8 回あきしま環境緑化フェスティバルの開催について
- 資料 3 あきしまの水ブランド構築・推進事業について
- 資料 4 平成 27 年度市内クリーン運動について
- 資料 5 平成 27 年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーンについて
- 資料 6 平成 27 年度犬のしつけ方教室について
- 資料 7 平成 26 年度及び平成 27 年度苦情件数について
- 資料 8 平成 27 年度花の応援事業（花苗配付）について
- 資料 9 平成 27 年度奥多摩・昭島市民の森事業について
- 資料 10 平成 28 年度主な環境課の事業一覧（予定）

発言要旨

- 1 開 会 本日は委員 12 名のうち、出席は 7 名、後程遅れて 3 名出席予定ですので、審議会は成立しております。
- 2 議 題 (1) エコプロダクツ 2015 の出展について
エコプロダクツ 2015 の出展について説明【資料 1】参照。
- 計画推進係長 (2) 第 8 回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について
第 8 回あきしま環境緑花フェスティバルの開催について説明【資料 2】参照。
- 産業活性課 (3) あきしまの水ブランド構築・推進事業について
【事業の趣旨】
本事業の目的、背景として地方創生の一環として「住み続けたいまち」から「住んでみたいまち」へのまちづくりを目指して、市の活性化及びイメージアップを図る取組を行っている。
水道水は、都内で唯一 100%深層地下水を使用しているということから、市内事業者と連携して何かできないかということでこの事業が始まり、市内事業者とワークショップを重ねる中で挙げた一つの方向性として、水のおいしさだけを伝えるのではなく、深層地下水 100%のある生活そのものの魅力に着目して、昭島市に暮らす誇り、愛着を育み、他の地域の人々に昭島市の人々の生き方や暮らし方を発信していきたいという話になり、本事業がスタートした。
目指すべき将来像は、「昭島市の人々が水を大切にしているか」、「市内事業者は常に環境や水質の保全に取り組んでいるか」、「環境教育等の活動に取り組んでいるか」、「昭島市の人々の暮らし、ライフスタイルがとても素敵、魅力的に見える、昭島市っていいよね」ということを市内外に発信していきたいと考えている。
【資料 3】、「あきしまの水とは」(A4 用紙)、「夢つなぎ人」(冊子) 参照。
- 環境保全係長 (4) 平成 27 年度市内クリーン運動について
平成 27 年度市内クリーン運動について説明【資料 4】参照。
- (5) 平成 27 年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーンについて
平成 27 年度あきしま喫煙マナーアップキャンペーンについて説明【資料 5】参照。
- (6) 平成 27 年度犬のしつけ方教室について
平成 27 年度犬のしつけ方教室について説明【資料 6】参照。
- (7) 平成 26 年度及び平成 27 年度苦情件数について
平成 26 年度及び平成 27 年度苦情件数について説明【資料 7】参照。
- 水と緑の係長 (8) 平成 27 年度花の応援事業(花苗配付)について
平成 27 年度花の応援事業(花苗配付)について説明【資料 8】参照。
- (9) 平成 27 年度奥多摩・昭島市民の森事業について
平成 27 年度奥多摩・昭島市民の森事業について説明【資料 9】参照。
- 計画推進係長 (10) 平成 28 年度主な環境課の事業一覧(予定)
平成 28 年度主な環境課の事業一覧(予定)について説明【資料 10】

参照。

- 椎名会長
椎名会長
計画推進係長
椎名会長
桐谷委員
長瀬委員
計画推進係長
環境課長
長瀬委員
計画推進係長
長瀬委員
計画推進係長
産業活性課職員
椎名会長
環境部長
長瀬委員
椎名会長
環境部長
- ご意見・ご質問がありましたらお願いします。
あきしまの水について、深層地下水というものの定義づけはあるのでしょうか。
定義と言えるのか分からないが、本市のホームページの中で、70メートルより深いところから汲み上げた水を深層地下水と表記しています。かなり深いところから汲み上げていることを定義と言えるかと思えます。
この言葉を使う根拠はありますか。
商業ベースで載った時に、浅い深層で深層地下水と言われて販売されても困るので、定義を作る等ははっきりさせておいた方が良いと思えます。
昭島市域以外でも使用しているのですか。
深層地下水は昭島市に住んでいる方のみが使える水になっているので、他の地域には供給されていません。
補足ですが、深層地下水 100%は昭島だけで、他の地域は混合です。以前、利き水をイベントで行ったと聞きましたが、水の評判はどうでしたか。
利き水は、エコプロダクツで実施しました。あきしまの水は特徴があるのか、正解する方が多かったです。
水質はどういったものですか。
中性だったと認識しています。
補足すると、あきしまの水は軟水で飲みやすいと聞いています。
あきしまの水の良さは分かりました。その恩恵を受けている昭島市をアピールする時に、おいしさであったり、味であったりを強調しても良いかと思えますが。
水ブランド構築事業は味ではなく、利便的な昭島市民のライフスタイル、水を大切に生活していることを全面的に出してあきしまの良さを分かってもらおうとしているのが、水ブランド事業の本旨であると思うのでこの点については十分ご理解いただきたい。
水を大切にするのは大切なことですが、水に困っているところはもっと大切にしています。あきしまではどのように使われていて、どのように喜んでいるのかという声がないと、アピールにならないと思えます。
まちの魅力の中核に水を据え、「住みたくなる町あきしま」というような観点で水を使うことであると認識しました。この事業では「Thanks to you」でいいのですが環境審議会では、環境の側面から水を通じて昭島市の環境の素晴らしさを他の市の皆さんに、市の環境としての取り組みを知らしめることだと思えます。
現在、総合戦略で「住み続けたいまち」から「住んでみたいまち」として昭島市をとらえ、定住人口を増やして市の人口を増やしたいというときに、あきしまの魅力は水と緑、そこからブランド化に繋がると

いうことです。

降旗委員

今の話に関係して、何か関連づけることはできないかと考え、学校教育等で水や緑に対する科学教育に重要だと思いました。深め方として、分析をしていき、昭島の水を保全しているということを学校教育の中で教材として使ったりしていくと、地域の特徴づけとして、あきしまの水の価値にも繋がり、良いと思います。

長瀬委員

塩素濃度、水質等に分析結果があれば、その結果をアピールした方がよいのではないかと思います。

環境部長

分析したものはあります。定期的に計測しているので変化も分かります。水のアピールをする材料になると思います。

現在、ブランド構築というところは産業活性という視点からの取り組みとなっています。我々は、環境部門として連携して行いましょうというところではあります。

降旗委員

他の部署が、連携していくことは良いことだと思います。

桐谷委員

いろいろな部署が連携して活動していると思いますが、環境が良いということはその町の人口を減らさない良い項目だと思います。「あきしまの水ブランディング事業」はとても良い事業だと思います。言い換えると、昭島の事業だけではないということも分かります。長期戦略も考えて、内輪だけでなく、なるべく外への取り組みも考えていきたいと思っています。

以前にもお話ししましたが、東京オリンピックはとても良い機会だと思っています。1964年の東京オリンピックの時には、奥多摩街道を西から東に抜けて、市内の小学生たちが見ていました。東京都に関しては、聖火リレーは全て走るの、上手く水を絡めたコースに迂回させるということができれば、役立つチャンスになるのではと思います。水質の良さという個性があるわけですから、対外的アピールすることが出来ると思います。

椎名会長

イベントに関連付けるということですね。オリンピックの担当は都だと思いますが、地域レベルで考えると、市が担当することだと思います。他者への感謝をしつつ、深層地下水が特徴であることを、十分認識した上で対外的にアピールするのも良いのかと思います。

あきしまの水だから出来る製品を大事にした方が良いと思います。

あきしまの水を利用したパン、染物もあるようですし食品や化粧品等もあるようです。他の水で作ったものと比較すると良いのかもしれないですね。

あきしまの中で特区を作って、あきしまの水を使って独自性のある製品を使うことに税制面で優遇したりしても面白いかもしれないですね。

環境部長

こちらの事業は、3月19日にお披露目イベントが10時から開催されます。

椎名会長

配付された資料の「AKISHIMA FANTASY 夢つなぎ人」というネーミングは水との関連はあるのですか。

産業活性課 水の冊子の命名を「夢つなぎ人」にしたのは、人に焦点を当てた取組であることから表現させていただきました。

宮川委員 産業活性課 この冊子は全戸配布するのですか。

産業活性課 部数に限りがあるのでこちらは配布しません。公共施設の一部で閲覧できるようにします。

宮川委員 私などは、知っているお店が出ていると嬉しいので、冊子を見られるところが増えるような工夫をしてほしい。気づいた人しか見ることができないのは残念です。

椎名会長 産業活性課 広報に載せてもらおうと良いかもしれませんがね。

長瀬委員 広報に載せておりますので、ご覧いただけていると思います。海外に目を向けると、水不足の国も多くあるので、水に恵まれている昭島市から水を送ることができるといいですね。また、空気からも除湿機等で水は作れます。しかし、水を作るための燃料が問題となってきます。全体的に見て環境という意味では難しい問題となってきます。

椎名会長 水ではなく、エネルギーの問題ということになってきますね。水がおいしいということではなく、深層地下水を使っていますよという視点は初めてですね。生活の局面の中でいかにうまく利用されているのか。うまく利用してくれる人を呼び込むという方法もあると思います。藍染の人とかね。

長瀬委員 先ほど東京オリンピックの話が出ましたが、深層地下水を利用して、スポーツドリンクを作ったら良いかもしれないですね。東京都に使用をお願いして、アピールできたら良いですね。

椎名会長 水はあらゆるものの根源となっているので、その水をどういった方法で使うかということの研究し、あきしまの水がどう関わるかということを考えるのも良いと思います。

桐谷委員 イベント等では、企業がかかわっている関係で、スポンサー権が絡んできます。紹介能力のある方がいれば、いろいろなイベントであきしまの水を紹介し、ブランディングを図ることは可能だと思います。

椎名会長 住みたくなるまちとして人気を上げていくために、そういった取組は必要です。効果を量る方法は様々ありますが、水を利用して、「住みたいまち・あきしま」ということに繋がってくるように思います。

計画推進係長 前日、全国の自治体ランキングの出るサイトを見ました。昭島市は全自治体の中でちょうど真ん中くらいでした。

椎名会長 ランキングの話が出ているが、水で競うのか、水を活かした暮らしで競うのか、暮らしぶりの中で水環境というのが多くの人から支持を得られることに繋げられるのか。単純にランキングだけで判断してはいけないうね。

環境部長 これまでは保全という中で、「地下水を大切にしていこう」という切り口でPRしてきましたが、今回は「住んでみたくなるまち・あきしま」

という取り組みです。

中野委員 人口でいえば、国勢調査の結果が出て、某市の人口がガタッと減少していると聞きましたが、昭島市はどうなのでしょう。

環境課長 減少傾向です。

椎名会長 これからの自治体は人口が減っていく傾向にあります。住みたいまちに来る人は、財政的な基盤を豊かにしてくれる可能性を持っています。人口は減っていくので、その時に自治体として、昭島市が平均値より上回れるかという事が重要となってきます。人口を増やす際に昭島の武器になるのが水ではないでしょうか。

長瀬委員 環境というのは子どもがすくすくと育つ、空気がおいしいといった自然環境だと思います。やり尽くしているかもしれませんが、それを継続させることが大切です。

環境課長 水と自然環境は昭島の売りにしなくてははいけません。水があるから、ホテルが発生するという PR も大切です。

椎名会長 水を制する者は環境を制するという結論になるのでしょうか。昭島市には豊かな自然環境を代表する水があるとも言えます。戦略を立てないといけないのですね。

宮川委員 【資料4】クリーン運動参加団体は何に基づいて応募されているのですか。

環境課長 基本的には自治会にお願いしています。スポーツをしている団体やボーイスカウト等にも依頼をかけ、申し込みいただいています。事業者で参加しているところもあります。

環境部長 これまで参加したことのある団体を中心に行っています。アダプト団体も含めて経験のある団体を中心に声をかけています。

宮川委員 私の所属する会社でも清掃活動をしているので、この活動に加えていただければ、参加団体数も増えるのかもしれませんが。

椎名会長 参加団体が、97 団体から 84 団体となったことと、参加人員が 3,700 人から 2,900 人になりました。可燃ごみが 715 袋～1,070 袋なのでたくさん集めたことは事実だが、参加者が 800 人ほど減っているのので、機会を設けないといけませんね。

久富委員 小平市に勤めていたことがあります。月 1 回 100 人程度、就業時間が終わった後、30 分程度自分たちの通勤路、周辺を定例化して清掃していました。昭島市でもそういったやり方も一理あると思います。

椎名会長 企業の地域的活動面としては、そういった方法でも参加できる機会を作るのも良いと思います。1 年に 1 回という決まりはないので。商店街等でも行っていますからね。宣伝活動や社会貢献の一環として行っているところもあります。大きい企業なら、どういった方法で地域に貢献しているかという項目もあると思います。公共の土地で活動しているので、市が主体でなく各団体が主体なのであれば、それを把握できると参加を増やすことができるのではないのでしょうか。

計画推進係長 先日、清泉中学校で市内の清掃活動を行っていたので、対象は企業、自治体に限らず、学校も含まれると思います。行政で把握できていな

いところもあるので、把握できれば先程の実行団体数も増えると思います。それにより、活動が制限されないようにバランスを取りながら、行ってもらうのが良いのかと思います。

桐谷委員

いろいろな活動をされていると思うので、「Thanks to you」でボランティアの話等を広報で積極的に取り上げ、紹介するのも良いと思います。自発的に行っていることを昭島市が評価し、形にすると良いと思います。

椎名会長

環境の広報媒体を作るということも必要となってくるかもしれませんね。広報媒体を使用し、周知することで他の団体も参加しようということに繋がるかもしれません。

久富委員

【資料10】を見て、市の活動として、広報等で市民の方に向けて呼びかけを定期的に行うのはどうでしょうか。

環境課長

ホームページ等を活用しながら、広めていきたいと思います。

計画推進係長

広報媒体を使用したものでは無いのですが、周知活動の一つとして、素敵な花壇をお持ちの方に写真を撮らせてもらい、花壇づくりの活性に繋げるような周知活動を行っています。市民ロビーでのパネル展示や活動の報告ができるとより良いのかなと感じました。

椎名会長

喫煙マナーアップキャンペーンがありますが、担当はどこなのでしょう。環境課なのでしょう。

環境課長

目的により、たばこの担当部署は異なります。

健康の視点で捉える時と環境の美化という視点で捉えるとは担当部署が変わってくるということです。

椎名会長

たばこ問題は奥が深いので、対応が難しいですね。

今、事業者では喫煙場所はあるのですか。

宮川委員

年々、職員が喫煙できる場所が減っています。

椎名会長

オリンピックが2020年に行われますが、国際標準がその時に求められるのでしょうか。

その他に何かありますか。

環境部長

最後に、本日が本年度最後の環境審議会となりますので御礼の挨拶をさせていただきます。

平成28年度は、環境配慮としては環境基本計画、生物多様性について考えていけないといけない、温室効果ガスの排出を抑えていかなくてはいけない、ということを受けての昭島市の活動をしていかなくてはなりません。平成28年度はどこから話を進めていくかはわかりませんが、環境基本計画であり、ゴミの問題、まちをきれいにする条例等、体系をみなさんに周知していただき、こういった取組をしていこうという整理をし、平成28年度は取り組んでいきたいと思っています。

3. 閉 会

最後に全体を通して何かございますか。無いようですので、これで閉会致します。ありがとうございました。